

海を渡ってきた漢籍 —江戸の書誌学入門

未整理書庫が
知の空間に
変わる!!

高橋 智 著 (慶應義塾大学斯道文庫教授)

四六判・230頁 定価(本体3,200円+税) ISBN978-4-8169-2610-5 2016年6月刊行

漢籍の知識をわかりやすく伝授
図書館員・学芸員必読の書

- 江戸時代の主要出版物である漢籍について、歴史とともに理解できるよう書き下ろした書です。
- 明治以降忘れられた漢籍を丁寧に調べ、それらの作者、注釈者、出版家、収蔵者などから、その本が作られた時代の様相や当時の日本における漢籍の生産、流通、販売など、漢籍についての知識を図版を用いてわかりやすく紹介します。
- 付録として「藩校・大名家蔵書等目録類一覧」「主な漢籍レファレンスブック」「関係略年表」付き。

【著者プロフィール】

高橋 智 たかはし・さとし

1957年生まれ。慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授(漢籍書誌学専攻)。文学博士。1986～1988年上海復旦大学古籍整理研究所高級進修生。1990年慶應義塾大学大学院博士課程修了。中国古典籍の印刷歴史、鑑定、日本の漢文古典籍(漢籍)の受容などを中心に研究している。主要業績:「慶長刊論語集解の研究」(『斯道文庫論集』30・31 1996～7年)、「安井文庫研究」(『斯道文庫論集』33～37 1999～2003年)、「室町時代古鈔本『論語集解』の研究」(汲古書院、2008年)、「書誌学のすすめ」(東方書店、2010年、ゲスナー賞受賞)など。

〈図書館サポートフォーラムシリーズ〉について

図書館活動の社会的広報に寄与するという趣旨で1996年に創立された「図書館サポートフォーラム」の名称を冠した本シリーズは、緩やかで様々なテーマを通して、図書館活動の発展を出版面でサポートすることを目的とする。

【目次】

序章

論語に始まる／江戸時代の和本／印本を較べる／為政者と書物

第一章 失われてゆく書物の群れ

書庫のなかで冷凍保存されてしまった漢籍／訓読が附された和刻本／時代とともに次第に小さくなる附訓本

第二章 漢学者の仲間たち

江戸時代のレファレンス／中世のイメージ／憂き目にあった藩校の漢文資料／散逸資料の発掘／明治に続いていく漢学／テキスト『史記評林』に見る出版の系譜／清朝考証学の出版…

第三章 読書と執筆—原稿から成本

精魂尽き果て死して後に上梓／重要な抜き書きメモ

第四章 活字と整版

木版印刷と活字印刷／中世博士家の学問、そして朝鮮版の影響／戦国武将たちと古活字版／皇室・武家・寺院・有志家—活字出版の主体／古活字版の版種

第五章 時代の様相—文字の変化

「和刻本」の目録／「翻刻」と「覆刻」の区別／書肆の営利出版／和刻本の時代区分／江戸時代初期の和刻本／江戸時代中期の和刻本／江戸時代末期の和刻本…

第六章 本屋の活躍—『四書集注』の版種

古注から新注へ／林羅山と朱子学／本屋の活躍／表紙などに見る時代的特徴／寛文年間のテキスト／元禄正徳年間のテキスト／享保年間以降のテキスト／道春点本の最後

第七章 本に奉仕する人々

漢籍の「目録学」／中国の蔵書研究・蔵書文化／江戸時代の蔵書の歴史／家康の書物文化政策／藩校の蔵書／復元する手だてとしての蔵書印

附章 後藤点『四書』『五経』

後藤点のやっかいさ／後藤芝山

藩校・大名家蔵書等目録類一覧

主な漢籍レファレンスブック

関係年表

索引

2016.8

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名

注文書

海を渡ってきた漢籍
—江戸の書誌学入門

定価(本体3,200円+税) ISBN978-4-8169-2610-5

冊



9784816926105